

TP-8800 をご利用の皆様

TP-8800 リリースノート(Ver.1.23 / リビジョン 1264)

2025 年 2 月 25 日

白山工業株式会社

この度、TP-8800 のファームウェアがバージョンアップされました。
今回のバージョンアップでは機能変更と不具合修正を行っています。

【重要】 TP-8800 FW Ver.1.16(リビジョン 1191)との組み合わせで使用した場合、
Web の動作が不安定になる事があります。
必ず TP-8800 FW Ver.1.23(リビジョン 1264)へアップデートをしてご使用ください。

■ ファームウェア構成

各ファームウェアのリビジョン

Firmware: Ver.1.23 (リビジョン 1264)

■ 機能変更

下記の 4 点について機能の変更を行いました。

1. TP-8800 を経由して LS-8800 の SD カードへアクセスする機能

測定停止の状態において、下記の機能が出来るようになりました。

- SD カードへ LS-8800 のファームウェアをアップロードすることができます。
TP-8800 と LS-8800 の通信に制約があるため全てのファームウェアを
アップロードするには時間がかかります。
- SD カードから SD カード内のファイルをダウンロード出来るようになりました。
TP-8800 と LS-8800 の通信に制約があるためファイルのダウンロードに時間
がかかります。

2. WEB 画面から LS-8800 ファームウェアのアップデート機能

LS-8800 の SD カードにファームウェアが保存されている場合、WEB 画面の操作で
アップデートが出来るようになりました。
この機能を使用するためには、LS-8800 のファームウェアが Ver.2.40 以降に
なっている必要があります。

3. WEB トップ画面にシリアル番号を表示する機能

LS-8800 と TP-8800 のシリアル番号がトップ画面に表示されます。

4. TP-8800 の ACT の送信速度の設定範囲の変更

重要 : TP-8800 F/W Ver.1.23(リビジョン 1264)と組み合わせてご使用ください

○これまでの設定範囲

下限 1Kbyte/sec～30Kbyte/sec 初期値 : 30Kbyte/sec
上限 30Kbyte/sec～100Kbyte/sec 初期値 : 100Kbyte/sec
※下限・上限のいずれも可変幅は 1Kbyte/sec

○今後の設定範囲

下限 0.1Kbyte/sec～12.0Kbyte/sec 初期値 : 0.1Kbyte/sec

上限 0.1Kbyte/sec～100.0Kbyte/sec 初期値：4.0Kbyte/sec

※下限・上限のいずれも可変幅は 0.1Kbyte/sec

下限値に 12.0Kbyte より大きな値が記述されている場合は 0.1Kbyte に置換えます。

■ 修正事項

下記の 1 点について修正を行いました。

1. 送信先 1、2、モニタ用 WIN に同じ IP アドレスとポート番号の組み合わせを指定出来てしまう不具合の修正

【発生 FW バージョン】 Ver.1.00～Ver.1.16

【現象】

TP-8800 の WEB から行うネットワーク設定変更で送信先 1、送信先 2
モニタ用 WIN、に同じ IP アドレス、ポート番号の設定が出来てしまいます。
IP アドレスとポート番号の両方を 2 つまたは 3 つに設定すると、ACT の
退避がうまく動作することができません。

【対応】

送信先 1、送信先 2、モニタ用 WIN、には同じ IP アドレスとポート番号を指定
ができないように修正しました。

以上